

事務事業実績測定調書

R4調書番号 687

事務事業名称	本会議等会議運営事務										
測定年度	2022(R4)年度		部	市議会事務局			課	議事調査課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1947(S22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法、枚方市議会会議規則、枚方市議会委員会条例 他				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	議会の会議内容に関心のある市内に居住、就学、就労する市民、地域、事業者(広義の市民)			
	サブターゲット	タブレット型端末及び文書共有ソフトを導入し、議会関係資料や連絡文書を電子化することで、資料等の作成に伴う印刷費用や配付、保管等にかかるコストの削減を図り、円滑で効率的な会議運営を行う。			
	ターゲットが抱える課題	本会議、常任委員会、特別委員会、委員協議会その他の会議を円滑に運用し、市民に開かれた議会の実現が求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	議会の会議が円滑に運営され、また、会議内容が市民にとってわかりやすく伝えられることで、市民に開かれた議会が実現された状態。				
事業概要	諸会議が円滑に運営されるよう準備等を行う。また、市民に開かれた議会を目的として、インターネットによる本会議の生中継及び録画映像の配信を行っている。なお、本会議開催時において、依頼に応じて手話通訳者の派遣を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	本会議を市民が傍聴できる				インプット (活動)	本会議が円滑に運営されるよう準備、補佐等を行う。					
	指標説明					本会議の傍聴者数					本会議の開議日数						
指標設定	指標種類					増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標						
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
	目標 (見込み)					250	250	250	250	25	25	25	25				
	実績					214	207	219		30	29	26					
	達成度					88%				104%							

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	4.00
再任用	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	36,605	33,538	33,262		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	36,605	33,538	33,262		
	物件費計	478	5,088	1,161	1,240	93.6%
	歳出計	37,083	38,626	34,423		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	478	5,088	1,161	1,240	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和4年度は、本会議が26日開催され、合計219人の傍聴者があった。また、本会議の開催に合わせ、インターネット(ユーチューブ)による生中継及び録画映像配信を行った。</p> <p>なお、その他の会議等の開催実績は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会(総務、教育子育て、市民福祉、建設環境)5回 ・議会運営委員会 21回 ・特別委員会(決算)6回 ・委員協議会(総務、教育子育て、市民福祉、建設環境)19回 ・その他の諸会議(全員協議会、各派代表者会議、議会報編集委員会)26回 ・常任委員会行政視察0回(0都市)※コロナ禍により実施見送り
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>タブレット端末及び文書共有ソフトを導入し運用している諸会議等のペーパーレス化について、課題整理を図りながら効率的な会議運営をさらに進める。また、令和4年度はオンライン委員会を実施した。本会議におけるオンラインの一般質問の体制構築については今後検討を行う。</p>

事務事業実績測定調査

R4調査番号 688

事務事業名称	市議会会議録等作成事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市議会事務局			課	議事調査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1947(S22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法、枚方市議会会議規則、枚方市議会委員会条例 他				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	議会の会議内容に関心のある市内に居住、就学、就労する市民、地域、事業者(広義の市民)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	会議録、委員会記録等が整備され、市民が議会の会議内容等を確認できる状態が求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	議会の会議後できるだけ速やかに会議録等が作成され、紙媒体やインターネット上で市民が議会の会議内容を確認できている状態。				
事業概要	反訳業者の作成した原稿を各種資料と照合するなどして校正し、紙媒体による会議録等を作成する。また、作成した会議録等を市立図書館等に配架するとともに、インターネット上で利用できる会議録検索システムに会議録等のデータを掲載する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
						市民等が紙媒体やインターネット上で市民が議会の会議内容を確認できる。				紙媒体による会議録等を作成する。			
指標設定	指標説明					会議録検索システムの年間アクセス件数				会議録、委員会記録の作成部数(1日1部換算)			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	目標(見込み)					単位	件			単位	部	
		実績					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
	達成度					114%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.50
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	20,336	18,452	20,034		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	20,336	18,452	20,034		
	物件費計	3,546	3,427	3,015	3,936	76.6%
歳出計		23,882	21,879	23,049		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,546	3,427	3,015	3,936	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度において作成した本会議の会議録等は、緊急議会、全員協議会が複数開催されたことから60日分となった。会議録等は、会議等終了後速やかに整文等を行い、発行の上、市立図書館等への配架とインターネット上の会議録検索システムへデータ掲載をスケジュール内で行った。また、令和4年度における会議録検索システムのアクセス件数は13,690件である。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	議会日程等が重なりあわせて記録作成料が増大する場合には、記録作成スケジュールを綿密に作成するなど効率的な事務執行により、本会議の会議録は3カ月以内、特別委員会の記録は6カ月以内に作成し会議録検索システムに掲載する。あわせて、その他常任委員会や議会運営委員会等の記録についても同様に、そのデータの作成を速やかに行うなど、公開情報の充実を図る。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 689

事務事業名称	議会報発行事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市議会事務局			課	議事調査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1956(S31)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市議会議会報発行規程、枚方市議会議会報発行要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内全世帯(全事業所、市内各施設含む)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	本会議等の内容が適切に報道され、市民が議会や市政について認識し、理解することができる状態が求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	本会議等の内容が適切に報道され、市民が議会や市政について十分に認識し、理解することができる状態。				
事業概要	議会報は原則として年6回(3月、6月、9月、12月の各定例月議会後、5月の開会議会後及び正月)発行しており、配布先は本市の全世帯(全事業所、市内各施設を含む)である。 また、文字を読むことが困難な視覚障害者や高齢者向けに「点字議会報」と「声の議会報」を発行しており、「声の議会報」については市議会ホームページ上で音声データを公開している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			議会報が本市の全世帯に配布される。				議会報を編集・発行する。				
指標設定	指標説明		全戸配付に必要な年間作成部数				議会報の年間編集ページ数				
	指標種類			単位	部	単位	ページ				
				増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標					
	指標数値			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)			1,125,000	1,125,000	1,125,000	1,125,000	24	24	24	24
実績			1,131,000	1,139,300	1,145,200		24	26	26		
達成度			102%				108%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.89
再任用	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	26,238	26,889	24,087		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	26,238	26,889	24,087		
	物件費計	9,412	10,816	11,751	14,293	82.2%
	歳出計	35,650	37,705	35,838		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0
	一般財源（物件費に充当されるもの）	9,412	10,816	11,751	14,293	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和4年度の議会報は、開会議会や各定例会議会等に合わせて、5月1日号(191,300部)、7月1日号(191,300部)、8月1日号(191,500部)、11月1日号(190,500部)、新春号(190,300部)、2月1日号(190,300部)を発行。議会報の発行に合わせて、点字議会報を57部(年間計)、声の議会報を235部(年間計)発行した。</p> <p>新型コロナ関連の議論や市駅周辺再整備に係る全員協議会での議論をはじめ、審議等が活発に行われたことで文字掲載量が増え、年間を通じて紙面レイアウトに苦慮しながらの発行作業となった。特に、11月1日号においては、特別多数議決が記名投票で行われ、否決されるという結果を受け、紙面レイアウト等に苦慮した発行となった。</p> <p>また、紙面の充実を目的にプレゼントクイズコーナーを掲載し、応募の際に議会報への感想や意見を記載してもらうことで市民ニーズの把握に努め、紙面のカラー化や用語解説の掲載方法の工夫、子ども向けコーナーの掲載などの紙面改革を行った。</p> <p>市議会を身近なものとして感じてもらえるよう、議場紹介や議会報作成までの流れ、新春の御挨拶など、議員が出演する動画を制作。議会報に動画のQRコードを掲載し、容易にアクセスできるように取り組んだ。</p> <p>令和5年度から、議会活動全般を対象とした動画の作成にも取り組んでいくため、議会報編集委員会を議会広報委員会に改め、さらに市民の関心に応えるため、次任期の当初に新議員を紹介する動画を作成することとした。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	市民からの感想や意見を基に紙面改革や動画作成に取り組む。

事務事業実績測定調査

R4調査番号 705

事務事業名称	議員調査・研修事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市議会事務局			課	議事調査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1947(S22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市議会会議規則、枚方市議会図書室規程				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市議会議員			
	サブターゲット	市職員及び市民			
	ターゲットが抱える課題	市議会議員が先進事例等の調査や研究を活発に行える環境の維持が求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	議員が先進事例等の調査や研究を活発に行うことができ、その成果として市への政策提言等が恒常的に行われている状態。				
事業概要	常任委員会等による先進都市研修(視察)の日程調整、議員発議による先進事例等の調査、議員向け研修会の案内や参加手続等を行っている。 また、議員の調査、研究に必要な図書等を提供するために議会図書室を運営している。なお、議会図書室は、市民、職員など、だれでも利用することができる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			議員が先進事例等の調査や研究を行う。				先進都市研修(視察)の調整、事務手続き等を行う。			
指標設定	指標説明		議員による先進都市研修(視察)件数				議員から事務局への先進都市研修(視察)に関する事前の調整依頼件数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		20	20	20	20	40	40	40	40
	実績		0	0	3		0	0	10	
達成度		15%				25%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			議員、職員、市民などに図書の貸し出しを行う。				図書を購入し、配架するなど、議会図書室を運営する。			
指標設定②	指標説明		図書の貸出冊数				議会図書室の蔵書数(新聞、定期購読冊子除く)			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		50	50	50	50	2,400	2,400	2,400	2,400
	実績		106	49	33		2,548	2,629	2,703	
達成度		66%				113%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.50
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,368	10,734	12,222		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,368	10,734	12,222		
物件費計	1,173	1,088	1,048	4,403	23.8%	
歳出計	11,541	11,822	13,270			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1,173	1,088	1,048	4,403		

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度は、コロナウイルス感染者が急増し第7波が到来したこと等を踏まえ、先進都市研修（視察）の実施は見送った。議員発議による先進事例等の調査、議員向け研修会の参加手続等を行った回数は22回である。また、令和4年度中に議会図書室へ新たに配架した図書（定期刊行物除く）は74冊であり、年度末の蔵書数は2,703冊となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類になったこと等を踏まえ、改めて先進都市研修（視察）の実施を検討する。今後も、議会図書室の資料の充実や他市先進事例の情報提供など議員が行う調査、研究を適切にサポートする。また、書籍等の資料については、議会図書室の配架場所に限りがあることから、随時、棚卸作業を行うなど議員、市民が利用しやすいよう整理に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 953

事務事業名称	議事調査課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市議会事務局			課	議事調査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	議事調査課職員			
	サブターゲット	全ての議員			
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課員が、それぞれ担当する事務を適正に把握し、正確かつ迅速に執行している状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.60
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	5,627	5,191		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	5,627	5,191		
	物件費計	-	193	35	332	10.5%
	歳出計	-	5,627	5,226		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	193	35	332	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市議会の機能を十分に発揮するため、定期的なOJTで職員の議会事務能力の向上を図るとともに、研修等で知識・技術の習得に努めるなど、自治体職員としての研鑽に取り組んだ。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	各業務を適正かつ円滑に遂行できるよう取り組みを進める。また、情報収集や連絡調整等を積極的に行うとともに、外部研修を含む各種職員研修を通じて得た知識や技術を課内で共有し、自治体職員としての研鑽に励む。